

	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合った内容を発表する。 ・次に、A、B、C、D私、E傍観者への、指導についてグループで話し合う。 ・グループで話し合った内容を発表する。 ・スクールカウンセラーの説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容別に板書して整理する。 ・意見をまとめず、様々な思いや考えを受け止める。 ・必要があれば補足する。 ・学級担任、私、A、B、C、傍観者の葛藤に触れる。 	
展開	<p>○ロールプレイⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私の訴え」を読んで、私に起こったことを読み取ることができるか話し合う。 ・2人組になり、私と学級担任役を決め、「私の訴え」その1を演じる。その後、役を入れ替えて演じる。(ロールプレイ) ・「私の訴え」その1の感想を話し合う。 ・「私の訴え」その2を、その1と同様に演じる。(ロールプレイ) ・「私の訴え」その2の感想を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私のことは何も知らなかったという想定にする。 ・話を聞いていない学級担任の姿に気づかせる。 ・日常の教職員の姿と重ね合わせて話し合わせたい。 ・その1との「私」の気持ちの違いを明確にしたい。 ・カウンセリングマインドの大切さに気づかせる。 	12分
終末	<p>○本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動について振り返り、感想をワークシートにまとめる。 ・まとめた感想を発表する。 ・スクールカウンセラーから、本時の活動のポイントを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・価値の共有が十分にできている場合は、グループワークとしてもよい。 	15分

資料1	<p>ロールプレイⅠ 「かわいいペン」</p> <p>ある日、学校でサキコちゃんが、筆箱の中から机の上にかわいいペンを出しました。周りの子どもたちはサキコちゃんのペンを見て、口々に「かわいいペンね。」「いいなあ」「同じのほしいな。」と言いながら、みんなサキコちゃんの机の周りに集まってきました。</p> <p>A=友達その1「かわいいペンだね。」</p> <p>B=サキコちゃん「どう、いいでしょ。〇〇〇のペンだよ。」</p> <p>C=友達その2「かわいいね。触らせて。」</p> <p>B=サキコちゃん「うん。いいよ！」</p> <p>A=友達その1「僕にも触らせて。」</p> <p>B=サキコちゃん「どうぞ、どうぞ。」</p> <p>D=私 「ねえ、私も触っていい？」</p> <p>B=サキコちゃん「ええっ、触らないで！あなたが触ると汚れちゃうでしょ！」</p> <p>C=友達その1「そうよ。いやあねえー。」</p> <p>A=友達その2「こっちへ来るなよ。ペンが壊れちゃうよ。」</p> <p>(この後、アドリブを交えてもよい。Dは、触らせてほしいことを訴え続ける。)</p>
-----	---

資料2 ☆「私の訴え」 この訴えから、私に起こった出来事を理解できるだろうか。

「私の訴え」

「(泣きながら) 先生…、先生…。」

「サキコちゃんが…、サキコちゃんが…。」

「見せてくれないの。」

「みんながあっちへ行けて。」

「…………。」

資料3 ☆ ロールプレイⅡ 「私の訴え」 その1

仲間はずれにされた私は、泣きながら学級担任（男性）のところへ訴えに来ました。

私 : 「(泣きながら) 先生…、先生…。」

学級担任 : 「なんだ、泣いてちゃわからないよ。」

私 : 「サキコちゃんが…、サキコちゃんが…。」

学級担任 : 「もっとはっきりと言いなさい。口があるだろ。」

私 : 「見せてくれないの。」

学級担任 : 「他人の物を勝手に見ちゃだめだよ。」

私 : 「みんながあっちへ行けて。」

学級担任 : 「無理に見ようとしたら、みんな怒るよ。」

私 : 「…………。」

学級担任 : 「言いたいことは言ったのか。先生忙しいからもう行くよ。」

資料4 ☆ ロールプレイⅡ 「私の訴え」 その2

仲間はずれにされた私は、泣きながら学級担任（男性）のところへ訴えに来ました。

私 : 「(泣きながら) 先生…、先生…。」

学級担任 : 「どうした、〇〇〇さん。何かつらいことがあったの。」

私 : 「サキコちゃんが…、サキコちゃんが…。」

学級担任 : 「サキコちゃんと何かあったんだね。」

私 : 「見せてくれないの。」

学級担任 : 「そう、サキコちゃんが見せてくれなかったんだね。」

私 : 「みんながあっちへ行けて。」

学級担任 : 「みんながあっちへ行けて〇〇〇さんに言ったんだね。つらかったね。」

私 : 「…………。」

学級担任 : 「ゆっくりでいいから、もう少し先生に話してくれるかな。」

いじめに関する校内研修Ⅰ ワークシート

学校名

氏名

ロールプレイⅠ 「かわいいペン」

学級担任の対応

A 友達その1
C 友達その2

B サキコちゃん

D 私

E 傍観者

ロールプレイⅡ 「私の訴え」

その1

その2

振り返り

質問シート

「これははじめですか？」

学校名

氏名

次に示した内容はいじめだと思いますか。当てはまると思う番号に○をつけましょう。

- 1 悪口やあだ名を言う。…………… 4-3-2-1
- 2 「お金を貸して」と同じ友達に言われる。…………… 4-3-2-1
- 3 ボール遊びをしていると、鬼になることが多い。…………… 4-3-2-1
- 4 気に入らない友達の靴を隠す。…………… 4-3-2-1
- 5 休み時間にふざけてズボンを脱がせようとした。…………… 4-3-2-1
- 6 何となく同じ友達を無視している。…………… 4-3-2-1
- 7 「鉛筆を貸して」と言ったら断られた。…………… 4-3-2-1
- 8 ある友達の持ち物をみんなが勝手に使っている。…………… 4-3-2-1
- 9 通りすがりに頭をこづかれたり、肩を叩かれたりしている。… 4-3-2-1
- 10 何人かでいるとき、話し出そうとすると、話を逸らされる。… 4-3-2-1
- 11 挨拶しても、聞こえないくらいの声でしか返してくれない。… 4-3-2-1
- 12 テストで良い点を採って喜んでいると、周りは白けている。… 4-3-2-1

(強くそう思う-4 そう思う-3 そう思わない-2 全く思わない-1)

感想

スクールカウンセラーによるいじめに関する校内研修Ⅰ (ファシリテータ用シナリオ)

過程	活動の内容	留意点	時間
導入	<p>○アイスブレイキング</p> <p>・「バースデイ・ライン」(例1) 「はじめに、グループを作ります。誕生日の早い順に並びます。」 「1月生まれの方はいますか…。」 「では、この方の後ろに誕生日順に並んでください。」 「先頭から、〇人ずつでグループをつくります。」 「グループで司会者と記録者を決めてください。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や性別が均等なグループになるなど、ねらいを持ってエクササイズを選択する。 ・声を出さないで並ぶなどアレンジを加えてもよい。 ・司会者や記録者を決める。 	9分
	<p>・「これはいじめですか？」(例2) 「ワークシート『これはいじめですか?』を見てください。」 「ワークシートに12項目の子どもの表れが記載されています。それぞれについて、いじめの度合いを1～4の数値で判断してください。時間は3分です。」 「では、今判断したことをグループの中で発表してください。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予めグループを決めておく。 ・グループで司会者と記録者を決める。 ・嫌いなものを紹介するなど、自由に意見を出し合える雰囲気づくりをする。 ・正解はないことを伝え、判断した理由をシェアリングする。 	9分
展開	<p>○本時の活動の説明 「これから、2つのロールプレイをしていただきます。その立場の人になり切って、それぞれの役柄を演じ、それぞれの人の気持ちを感じ取ってください。」</p> <p>○ロールプレイⅠ 「かわいいペン」 「資料1を見てください。『かわいいペン』という題名のシナリオに沿ってそれぞれの役を演じていただきます。」 「ABCDの役をやっていただけの方は挙手してください。」 「シナリオ通りでも結構ですし、多少アレンジしていただいても構いません。役になり切って、演じてください。」 「役柄ABCD以外は、傍観者の立場で参加してください。では、お願いします。」 (ロールプレイ) 「では、もう一度演じていただきます。最後の場面で、学級担任役の先生に登場していただき、この場面の対応をしていただきます。」 (ロールプレイ) ※ 学級担任登場、場面への対応 「学級担任役の先生に、今の対応についてお聞きしたいと思います。はじめに皆さんからの質問を受けます。挙手をお願いします。」 「〇〇〇〇したのは、どうしてですか。」 「〇〇〇〇だからです。」 「〇〇〇〇したのは、どうしてですか。」 「〇〇〇〇だからです。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡潔に説明する。 ・ロールプレイで<u>傷つき体験等がある方には、強要しない</u>ことも伝える。 ・ロールプレイⅠについては、児童生徒用の机や椅子、教卓などを用意しておく。 ・事前に依頼しておいてもよい。 ・ロールプレイが長くなりすぎないように注意する。 ・傍観者も重要な役割であることも付け加える。 ・学級担任役は予め決めておくとうい。 ・一通りの対応ができれば、終わりとする。 ・学級担任役の先生へ感謝の意を表す。 ・学級担任の対応が、質問に応じられない場合は、活動を簡潔に行う。 ・学級担任役の先生の対応を批判するような意見は避ける。 	1分 23分

	<p>「△△△先生の対応を参考に、先程の場面への対応についてグループで話し合ってください。学級担任はどのように対応したらよいか、話し合ってください。司会の方は、意見をまとめるのではなく、様々な思いを受け止めるようにしてください。」</p> <p>(話し合い)</p> <p>「では、グループで話し合った内容を発表していただきます。はじめに、◇◇班お願いします。」</p> <p>(発表)</p> <p>「続いて、……………、ありがとうございました。」</p> <p>「今回のような場面は、指導がしにくい場面だったと思います。ボールをぶつける、机を倒すというような直接的な暴力行為は、いじめた側を指導する明確な理由があり、指導しやすい場面です。しかし、今回の場面では、いじめられる側の行動を否定しています。この場面は、いじめの初期段階に多く見られる『仲間外し』や『仲間外れ』の状況です。この時に、しっかりと指導をしておきたいものです。そこで、A、B、C、D、傍観者への事後指導をどのようにしたらよいか、グループで考えてください。話し合った内容は、発表をしていただきます。話し合いの内容は、ワークシートに記述してください。」</p> <p>(話し合い)</p> <p>「グループごとに、出された意見を発表してください。はじめに、◇◇班お願いします。」</p> <p>(発表)</p> <p>「続いて、……………、ありがとうございました。」</p> <p>「いじめることは許されない行為ですが、いじめる側にも、いじめることは許されない行為という思いがあり、常に葛藤しています。いじめた時は、いじめた側も傷ついています。このことを理解して指導することが大切です。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>場面への対応</u>について話し合う視点がずれないように注意する。 ・ホワイトボードや模造紙などにまとめてもよい。 ・場面への対応ではなく、事後指導のあり方を考えるという視点がずれないように注意する。 ・いじめた側が悪いという一方的な指導では、解決に至らないことを伝える。 ・いじめた側の葛藤について採り上げ、指導の深化を図る。 ・それぞれの立場で理解すべき視点について、必要があれば補足する。 	
展開	<p>○ロールプレイⅡ 「私の訴え」</p> <p>「資料2を見てください。先程、いじめられていた『私』が学級担任の先生に訴えた内容です。皆さんは、すでに、『私』に起こったことを知っている訳ですが、『私』に起こった出来事を全く知らなかったとしたならば、資料2の訴えで『私』に起こった出来事を理解できるか、考えてみてください。」</p> <p>(話し合い)</p> <p>「資料2からは、『私』に起こったことを理解することは難しいという意見をいただきました。では、『私』の言葉から『私』に起こったことを聞き取るロールプレイをしてみましょう。2人組になってください。」</p> <p>(2人組に)</p> <p>「資料3を御覧ください。資料3は、『私』が学級担任の先生に、『私』に起こったことを訴えるシナリオです。役を替えて、『私』と学級担任と両方を体験してください。」</p> <p>(ロールプレイ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何人かの教職員に質問してみる。 ・もし、理解できるという意見が多かったならば、どこからそれが理解できるのかを確認する。 ・グループの人数が奇数の場合には、組み合わせに配慮する。 ・資料3と資料4を同時に配布して、指示をしてもよい。 	12分

	<p>「資料4を御覧ください。資料4も、『私』が学級担任の先生に、『私』に起こったことを訴えるシナリオです。同じように役を替えて、体験をしてください。」 (ロールプレイ)</p> <p>「『私の訴え』の感想をワークシートに記入してください。」</p> <p>「元のグループになって、感想を発表してください。」</p> <p>「グループごとに、出された意見を発表してください。」</p> <p>(必要があれば補足する。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「私」の立場で感じたことを主に感想を求める。 ・カウンセリングマインドの大切さに気づかせる。 ・学級担任の対応について、傷つき体験がある方には配慮する。 	
終末	<p>○本時の活動の振り返り</p> <p>「では、本時の活動を振り返っていただきます。ワークシートに、気づいたことや感想などを記入してください。」</p> <p>「それでは、発表してください。」</p> <p>「いじめへの対応の第一歩は、適切な初動対応です。資料3のような学級担任の対応では、子どもが二度と相談しようとは思わないだろうし、家庭でその話をしたら、いじめだけではなく、学校の対応を糾弾する状況にもなりかねません。また、いじめに関わった子どもの指導は、いじめられている子どもを守ることはもちろんですが、いじめた側の心情を理解しながら行うことが大切です。本日は簡単なロールプレイで、いじめへの対応の基本について研修しました。</p> <p>研修で理解した内容を日ごろの指導を振り返る視点にさせていただくと同時に、日ごろの実践に活かしていただきたいと思います。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・価値の共有が十分にできている場合は、グループワークとしてもよい。 ・挙手がなければ、指名する。(指名する方を机間巡視で確認しておく。) 	15分